

子どもたちが勇壮な太鼓で盛り上げた藤井地区盆踊り



藤井地区盆踊り（藤井地区自治連合会主催）は13日、宇野の藤井

勇壮な太鼓で盛り上げ 藤井地区

公園で開かれ、約200人が集まった。花咲く玉野、玉野いきいき音頭、かっからかニューバージョンに続き、締めくくりは正調かっからか「大槌のおろち退治」。生の口説きによる歴史物語を、園児から中学生まで地区の子どもたち6人が勇壮な太鼓で盛り上げた。

宇野小6年佐藤和俊君（11）は「みんなの前で太鼓をたたくのは緊張したけど、保育園児の弟の分まで頑張った。夏休みの良い思い出になった」とほほ笑んだ。

参加者にはかき氷や冷たい飲み物が振る舞われ、踊りの合間には花火もして親睦を深めた。（松山定道）

地域交流促進 願い刷新 田井地区

田井地区コミュニティ協議会は10日、従来の盆踊りに加え、ゲームなどを新たに盛り込んだ第1回夏まつりを田井小で開催。約1500人でにぎ



田井地区の夏まつりで盆踊りを楽しむ子どもたち

田井地区は新しい住民も多く、井上征三会長が「地域で夏の思い出を共有することで、つながりが生まれてくる」と祭りを刷新。「子どもたちが楽しめる行事をたくさん用意すれば人は集まってくれるはず」と、飲食やゲームのブースを増やしステージイベントを新設した。

玉野高の生徒たちが協力。吹奏楽部がヒット曲のメドレーを演奏し、ダンス部は当地グルメにちなんだ「たまの温玉めしダンス」を披露した。地踊り・かっからか、花火もあった。吹奏楽部部長の2年村上侑大

夏まつり

9～13日、市内では夏まつりや盆踊りが相次いだ。市民、帰省客らが踊りの輪をつくって夏のひとときを楽しんだ。

踊りの輪

山田地区夏まつり盆おどり大会で盛り上がったお楽しみ抽選会



屋台や抽選会も盛況 山田地区

山田地区夏まつり盆おどり大会（山田地区コミュニティ連絡協議会主催）は13日、山田小グラウンドであり、約600人が盆踊りや屋台を楽しんだ。

この1年に亡くなった住民を供養する祭壇に焼香し、黙とうをさげた後、やぐらで太鼓を打ち鳴らすと、地踊り・かっからかの輪が広がった。各種団体による焼きそばやおでんなどの屋台が並び、金魚すくいやストラックアウトゲームのコーナーも盛況だった。

フィナーレは扇風機やかき氷器などが当たるお楽しみ抽選会。自転車に当たった山田中2年中殿敬太さん（13）は「屋台を楽しみに来たが、まさかの1等が当たってうれしい。僕の自転車はあるから弟に買ってもらう」と話した。（松山定道）

八浜町大崎地区恒例の盆踊り大会は11日、学生服メーカー・トンボ玉野本社工場駐車場で開



八浜町大崎地区の盆踊り大会で輪になって踊る住民ら

かっからか テンポ良く 八浜町大崎地区

飛び入りの子ども連やトンボのベトナム人研修生も踊りの輪に加わり、にぎわった。踊りはグランプリを決める審査があり、八浜中生徒有志が進行を務めた。いところと一緒に踊った大崎小4年高原ななみさん（9）は「みんなで踊ると気持ちいい。屋台のかき氷がおいしかった」と話した。（内田貴大）

大正、昭和生まれの住民でつくる「大昭会」が主催。町内会や職場のグループ10組がやぐらを囲み、太鼓のリズムに合わせて地踊り・かっからか、「玉野いきいき音頭」などをテンポ良く踊った。

のぞみ園利用者

障害者支援施設ののぞみ園（木目）では9日、ふれあい夏祭りがあり、利用者や近隣住民ら約400人が屋台や盆踊りを楽しんだ。

利用者の和太鼓演奏でスタート。会場にはちょうちんが飾られ、職員らが用意した焼きそば、たこ焼きなどの屋台が並んだ。荘内中生徒有志による射的やヨーヨーすくいのゲー



のぞみ園のふれあい夏祭りでゲームを楽しむ利用者ら

近隣住民楽しむ

ムコーナーもあった。

後半は荘内地区の舞踊グループ・藤間徳知寿会が盆踊りを披露し、利用者も一緒に踊った。準備に携わった利用者の田中寿佳さん（49）＝木目＝は「たくさんの方が来てくれてにぎやかでいい雰囲気。屋台巡りも楽しい」と話した。（内田貴大）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。